

## 1 連携の目的

- ・大学の人的、社会的資源等を活かし、支部活動の充実及び運営推進を図る。
- ・学生との交流等を通して ALS 患者の対人的かかわりを広げ QOL の向上を図る。
- ・医療従事者をめざす看護学科学生等の ALS への理解と資質の向上に寄与する。

## 2 本年度の取り組み

(1) 茶話会について ※「R5 茶話会について」「R4 年度末アンケートまとめ」を参照

- ・会場開催（Zoom 併用）の場合の学生の参加の仕方を検討していただきたい。
- ・学生と参加者との交流については学生の意見等を取り入れ検討したい。

(2) 支部総会や研修会等について

- ・6/18（日）支部講演会（鎌田先生、Zoom 開催）→ 学生に周知いただきたい。
- 11/〇（日）支部研修会 → 会場開催の場合：学生 5 人程度（会場準備等）

※Zoom 開催の場合は、香川県作業療法士会に協力をお願いしている。

(3) 訪問ボランティアについて

- ・交流希望在宅患者は 2 人（高松市男 1、綾川町女 1）
- ・5/8（5 類移行）以後、実施について大学担当者（清水先生）と相談

### 【実施の手順と留意事項】

5 月中 参加者の氏名、住所、連絡先、写真撮影の可否等を大学担当者に連絡

6 月中 訪問日時、内容、事前面会の有無等は大学担当者と参加者が直接相談

7 月～ 訪問ボランティア開始

- ・一度の学生の訪問人数は 2～3 人程度。多い場合は相談
- ・ボランティアの時間は、内容によって 1～3 時間程度
- ・学生の介護補助等は、家族や訪問看護師の補助的ポジショニングは可
- ・学生の活動の保障はボランティア保険が対応

※訪問ボランティアの取り組みは大学の実施報告書、支部だより等で紹介

## 3 その他

- ・顧問を中心に初期患者への支部活動の周知・入会案内パンフレットを作成いただく。
- ・附属病院、県中、日赤の神経内科に支部パンフレットを設置いただけるようご助力いただく。